

紙カルテ電子ファイリング



Toyosato System Solution

楽2ライブラリ

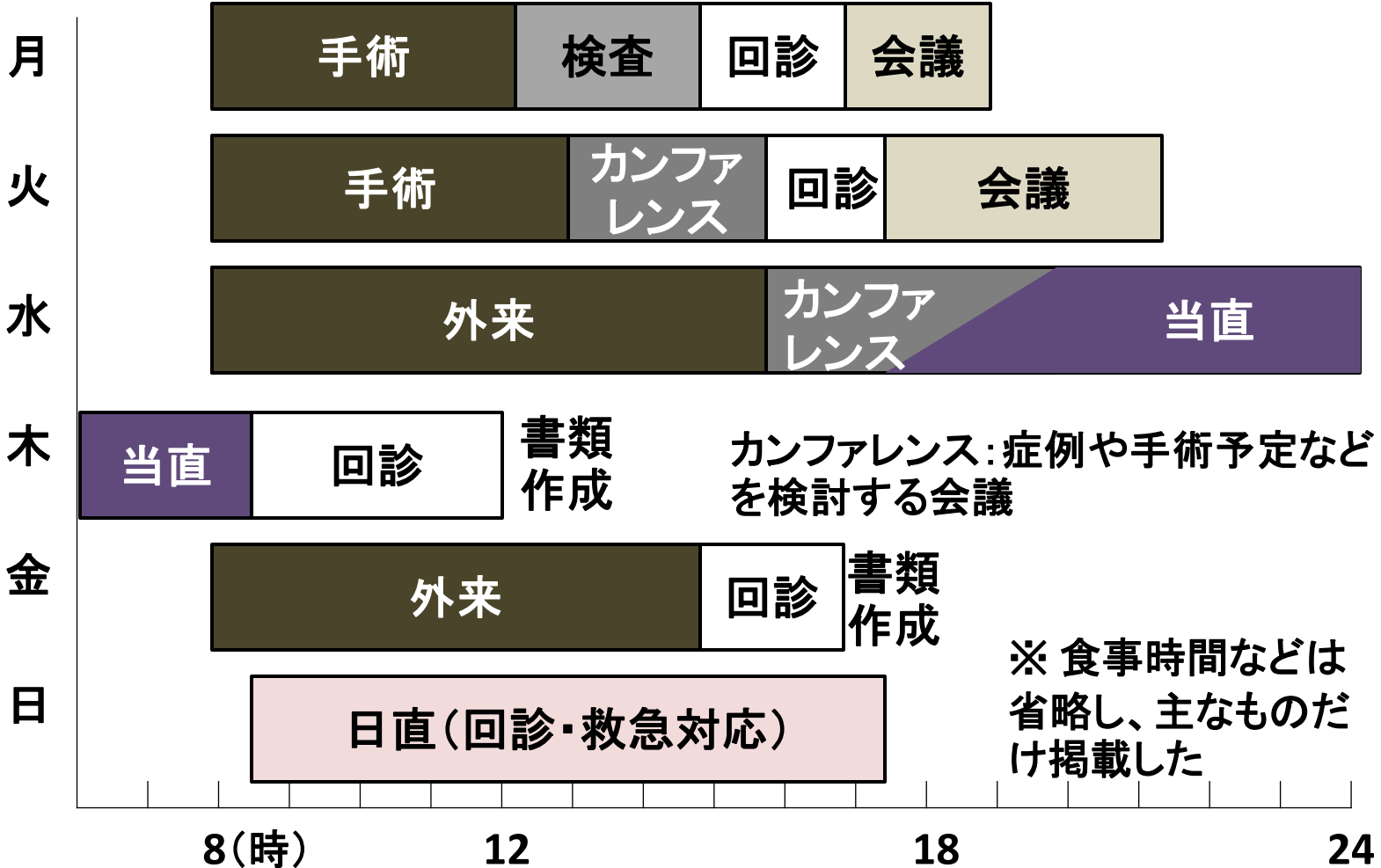
2009年7月23日



株式会社 豊里システムソリューション

ある外科医の1週間(土曜休み)

2009年7月4日付け読売新聞朝刊から引用



【医】をいえる

午前7時半、京成津田原駅近くにある若志野第一病院の1日白、三機院長の診察から始まる。都心通勤通学する住民が多いため、平日の通院者が多い。15年以上続けている「早朝診察」だ。

勤務医

人手不足たまる疲労

勤務医の労働実態について、県内の公立病院で指導医を務める外科医は、「1日中手術や診察があり、当直は一睡もできないことも、翌日も朝から病棟の回診や書類作成などで、夜まで仕事になってしまう。36時間連続勤務も珍しくないで打ち明け、この外科医の6月のある1週間の勤務を見ると、当直明けは手術した患者の身体は自分から手術した患者の身体を

にたまって帰る医師も多いう」と述べた。県医師会が2008年7月、県内の勤務医4687人に実施した調査(有効回収率32%)によると、週平均の労働時間は「59時間以上」が28%に達した。長時間勤務の要因(複数回答、以下同じ)では、「患者数の増加、診療内容の変化(42%)」と、「会議、書類作成などの診療外業務」(42%)が多く、「患者への説明」も24%に上った。

朝医師会の若田氏に理事は「医療の専門化、高度化により、病状や検査内容、手術の危険性など、説明責任が重くなっている。患者さんや家族に対応する時間が大幅に増え、1人の医師が診察する人数は減っている。医師不足を懸念しているのは、地域的な偏在のほか、こうしたことを背景にあると指摘する。医師やスタッフの数を増やすにも、国や自治体の財政事情は厳しい。まずは総合的な身近な開業医に診てもらい、必要があれば病院の専門医を紹介してもらう。これを

募集「ノーオ両車」電銚

100万円購入費用に

古い1000円の開業する者あれば必ず必ず必ずの原資とし、夜間の地域医療に貢献して、病院は「公的機関」の下、民間病院は責任が重なり、可能なら別の株式会社と連携する。

京葉

【京葉】京葉地区の医療機関に関する情報を掲載しています。お問い合わせ先は047-406-1461です。

ちば建労 千葉県建設労働組合 047-406-1461

「会議、書類作成などの診療外業務」(42%)が多く、「患者への説明」も24%に上った。

【医を】 文える

午前7時半、京成津田沼駅近くにある若志野第一病院の1日白、三機院長の診察が始まる。都心まで通勤する住民が多いため、平日の通院が多いサリマンや学生向けに、三機院長が日曜を除く毎月、15年以上続けている「小児科診察」だ。

京成津田沼駅近くの若志野第一病院は、開業して約40年になる。院長の診察が始まるのは午前7時半、京成津田沼駅近くにある若志野第一病院の1日白、三機院長の診察が始まる。都心まで通勤する住民が多いため、平日の通院が多いサリマンや学生向けに、三機院長が日曜を除く毎月、15年以上続けている「小児科診察」だ。

若志野第一病院は、開業して約40年になる。院長の診察が始まるのは午前7時半、京成津田沼駅近くにある若志野第一病院の1日白、三機院長の診察が始まる。都心まで通勤する住民が多いため、平日の通院が多いサリマンや学生向けに、三機院長が日曜を除く毎月、15年以上続けている「小児科診察」だ。

銚電「車両オーナー」募集

1口10万円 購入費用に



京葉

銚電車両の募集に関する問い合わせ先や募集条件のリスト

勤務医

人手不足たまる疲労

勤務医の労働実態について、県内の公立病院で指導医を務める外科医は「1日中手術や診察があり、当直は一度もできないことも、翌日も朝から病棟の回診や書類作成などで、夜まで仕事になってしまう。36時間連続勤務も珍しくないで打ち明けると、この外科医の6月のある1週間の勤務を見ると、当直明けは手術ははずだが、実際は自分が手術した患者の管理は重大り、診断書などの書類作成は重大り、診断書などの書類作成

県医師会の石川広己理事は「医療の専門化、高度化などにより、病状や検査内容、手術の危険性など、説明責任が重視されるようになり、患者さんや家族に対応する時間が大幅に増え、1人の医師が診られる数は減っている。医師不足を強く感じるのは、地域的な偏在のほか、こうしたことも背景にある」と指摘

ちば建券 日本建設労働者組合連合会

血管外科専門の、ある院長先生からのメール

近年、診療所は開業ラッシュですが、その多くは電子カルテを導入していると思います。電子カルテの導入の理由は医療事務の簡素化とペーパーレス化になりますが、実際に電子カルテを導入してみるとペーパーレス化とはほど遠い状態となってしまいました。各種検査所見や保険証のコピー、紹介状やその返事、手術や麻酔記録など大量の書類が発生し、カルテホルダーが大量に必要で事務室はカルテで占拠されてしまいました。ご存じのように当院は非常に狭いので大量のカルテの置き場所はなく、また患者さん来院のたびにカルテを出して運ぶ手間も馬鹿になりませんでした。その際に、他院でScanSnapスキャナーを使用しているとの話を聞き当院に導入してやっとペーパーレス化を達成できたという経緯があります。

電子カルテにはスキャナーが必須だと思うのですが、実際には電子カルテ会社はその重要性をあまり認識しておらず、PDFの閲覧機能やスキャナーとの連携に関しては非常に使いにくい仕様になっています。そのような状況を改善していただけたらという期待があります。

医師の負担軽減

事務員の負担軽減



効率化とスピードアップ

病院経営のコストダウン

楽2コイブコリ

楽2ライブラリ

医療分野での活用シーン

紙カルテを電子化してそのまま運用

電子カルテ導入予定で過去のカルテを電子化

電子カルテと連携して運用 ※

ホームページからぱらぱらめくりで情報発信

※ 電子カルテから楽2ライブラリを呼び出すボタンが必要になり、電子カルテ開発会社との調整が必要となります。

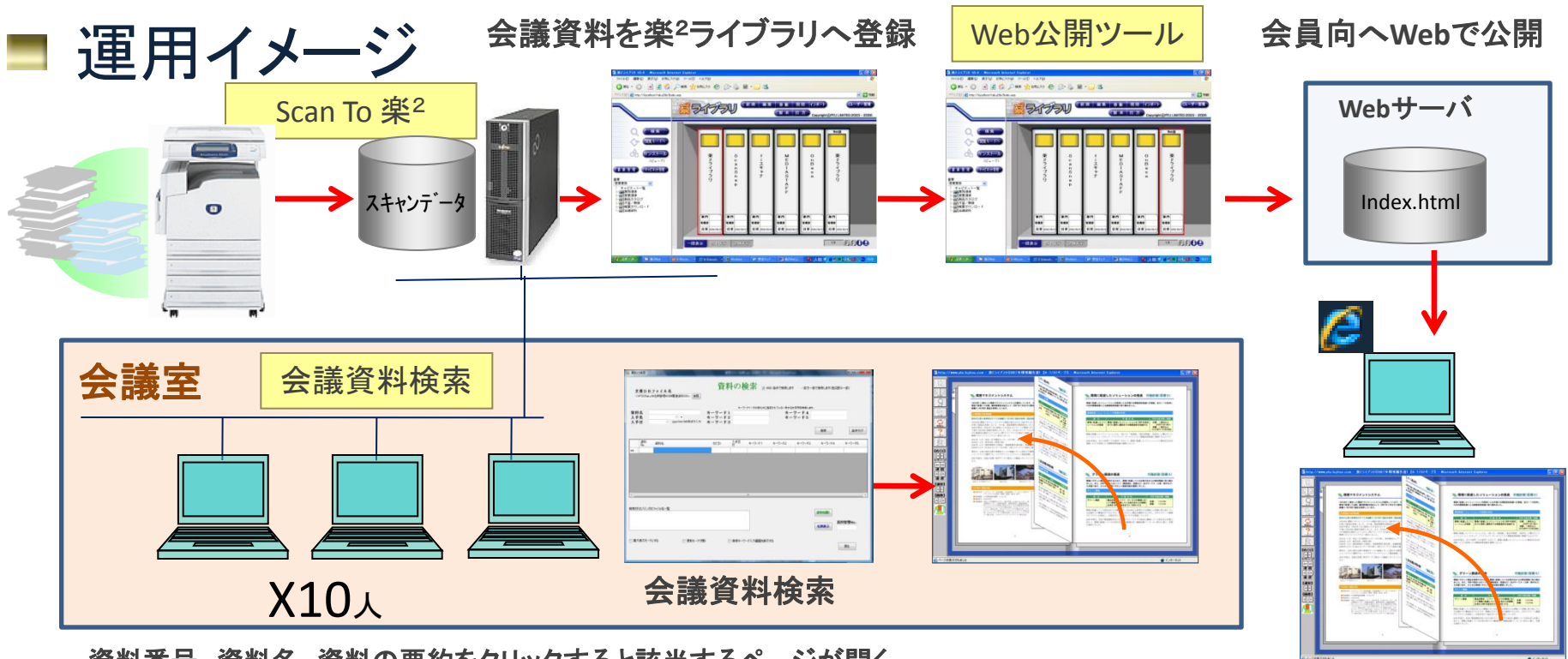
楽²ライブラリでペーパーレス会議

■ 導入前の課題



- 厚労省・日本医師会・県医師会からの通達文書が膨大で管理が大変
- 月2回の理事会で配布する資料のコピー代
X2
- 過去の通達文書を探し出すのに手間がかかる

■ 運用イメージ



資料番号、資料名、資料の要約をクリックすると該当するページが開く

会議の進行に合わせて紙の資料を扱う感覚でぱらぱらめくり

楽2ライブラリ

簡単な操作でカルテを参照できる

同意書、入院計画書、紹介状などの文書を、
患者単位で簡単に閲覧できる

インフォームドコンセントとしても利用可能

ペーパーレス会議のツールとしても利用可能

情報発信ツールとして病院のイメージアップ



医療現場の業務効率改善とスピードアップを図り
病院経営のコストダウンを支援します。